

# 福井県勝山市猪野方言の否定の表現

天野 義廣

## I . はじめに

1. 調査対象地： 福井県勝山市猪野は福井市の東方約32キロメートルの勝山盆地にある、市街地に近い一集落である。従来30戸前後の農村であったが、ここ数年、村の近辺に道路網の整備や宅地化が進められ、現在は38戸である。人口は1995年4月現在で合計 170名である。従来からの所帯はほとんどが米作を主とする兼業農家で、近年当集落に編入された所帯の大人の多くは会社員である。
2. 調査年月日： 1995年2月12日 午後7時～9時30分
3. 話者： 天野稔 昭和9年1月31日生（61歳）  
話者は若い時より農業に従事し、農閑期には市内で土木建築の仕事をしている。調査者天野の親戚で、隣りどうしである。
4. 調査者・調査場所： 天野義廣・調査者宅
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査
6. その他：統一調査票に示されている事象例については当地で言うか言わないか確認に努めたが、「言う」との回答があった場合のみ《確認》との注記のもとに掲げた。

## II . 調査結果

### 【I】 動作・作用の否定表現

1. 行かない ○アメ フリソーヤデ キョーワ ドコモ {①エカントコ ヤー。  
②エカン ノヤー。 ③エケヘン。〈丁寧〉}
2. 降らない ○キョーワ アメ {①フラント オモー ガノー。 ②フラン ザー。  
《誘導》}  
\*①について、(この辺ではノー言葉がつくとききれいな言い方になる。そう古老からも聞いている。)との説明があった。
3. 行きません ○キョーワ ドコモ イキマシエン。
4. 行きはしない ○キョーワ ジェッタイ ドコモ {①エカン デノー。  
②エケヘン。〈丁寧〉 ③エキヤーシエン。《確認》〈稀〉}
5. いらっしゃらない ○キョーワ シエンシェ ドコモ イキナハラン。
6. 行かなかった ○キョーワ ドコモ {①エカナンダ ノー。  
②エカナンダ ザノ。 ③エカンカッター。}  
\* (「エカナンダ」は年配の人、「エカンカッタ」は若い人が使う。)  
\* 「ザ」「ザノ」はそれぞれ〈共通語の「よ」「ですよ」に対応する文末詞。)
7. 行きはしなかった ○ジェッタイネ キョア ドコモ {①エカナンダ ノー。

②エカ<sup>ン</sup> ザ<sup>ノ</sup>。 ③エケヘナ<sup>ン</sup>ダ ザ<sup>ノ</sup>。〈丁寧〉

④エキ<sup>ャ</sup>ーシエ<sup>ナ</sup>ンダ <sup>ノ</sup>。《確認》}

8. 行くまい ○ア<sup>メ</sup>ヤ<sup>デ</sup> ド<sup>コ</sup>ーモ エカ<sup>ン</sup>ト<sup>コ</sup>ー。

9. 出まい ○ア<sup>メ</sup> フリ<sup>ソ</sup>ーヤ<sup>デ</sup> ド<sup>コ</sup>モ デ<sup>ヨ</sup> マイ。〈稀〉

\* (「<sup>デ</sup>ヨ <sup>マイ</sup>」ワ「<sup>ヤ</sup>メ<sup>ト</sup>コ」チュ<sup>ー</sup>コ<sup>ト</sup>ヤ。「<sup>デ</sup>ヨ <sup>マイ</sup>カ」チュ<sup>ー</sup>ノ<sup>ワ</sup>  
「<sup>イ</sup>キ<sup>マ</sup>シ<sup>ョ</sup>」チュ<sup>ー</sup>コ<sup>ト</sup>ヤ。オ<sup>モ</sup>シ<sup>ェ</sup>ホ<sup>ー</sup>ゲ<sup>ン</sup>ヤ <sup>ノ</sup>。)との説明があった。

10. すまい ○キ<sup>ョ</sup>ーワ ア<sup>メ</sup> フッ<sup>デ</sup> (何<sup>も</sup>) {①シ<sup>ェ</sup>ン<sup>ト</sup>コ <sup>マイ</sup>コ。

②シ<sup>ェ</sup>ン<sup>ト</sup>コ<sup>ー</sup>。〈多〉 ③ヤ<sup>メ</sup>ト<sup>コ</sup>。}

\* 「<sup>マイ</sup>コ」は〈「(…しよう)じゃないか」と勧誘の意を表す文末詞。〉

11. 降らないだろう ○(今<sup>日</sup>は) タ<sup>ブ</sup>ン ア<sup>メ</sup>ワ {①フ<sup>ラ</sup>ン <sup>ノ</sup>。

②フ<sup>ラ</sup>ンヤ<sup>ロ</sup>ー。}

12. 降るにちがいない ○ア<sup>シ</sup>タ<sup>ワ</sup> コレ<sup>ワ</sup> ア<sup>メ</sup>ヤ <sup>ゾ</sup>ー。

13. 来ない ○キ<sup>ョ</sup>ーワ ダ<sup>レ</sup>ーモ {①ケ<sup>ヘ</sup>ン <sup>ザ</sup>ー。〈丁寧〉 ②コ<sup>ン</sup> <sup>ザ</sup>ノ。}

14. 来はしない ○キ<sup>ョ</sup>ーワ ダ<sup>レ</sup>モ クリ<sup>ャ</sup>ーシ<sup>ェ</sup>ン。

15. 来なかった ○キ<sup>ョ</sup>ーワ ダ<sup>レ</sup>モ {①ケ<sup>ヘ</sup>ナ<sup>ン</sup>ダ。〈丁寧〉 ②コ<sup>ナ</sup>ンダ。

《確認》}

16. 見ない ○キ<sup>ョ</sup>ーワ ダ<sup>レ</sup>モ {①ミ<sup>ナ</sup>ンダ <sup>ナ</sup>ー。 ②ミ<sup>ヘ</sup>ン。〈丁寧〉

③ミ<sup>ン</sup> <sup>ノ</sup>。《確認》}

17. 居ない ○(今<sup>日</sup>は) ダ<sup>レ</sup>モ {①エ<sup>ヘ</sup>ン <sup>ザ</sup>ー。〈丁寧〉

②オ<sup>ラ</sup>ン <sup>ザ</sup>ー。《確認》}

\* 〈「<sup>エ</sup>ン。」という表現も一般的になされる。〉

18. 行かずに ○キ<sup>ョ</sup>ーワ ド<sup>コ</sup>ーモエカ<sup>ン</sup>ト <sup>ウ</sup>チ<sup>ネ</sup> イ<sup>タ</sup>。

19. 行かなくても ○ワ<sup>ザ</sup>ワ<sup>ザ</sup> エカ<sup>ン</sup>デ<sup>モ</sup> エ<sup>ー</sup>

20. 行かなければ ○ワ<sup>ザ</sup>ネ エカ<sup>ン</sup>デ<sup>モ</sup> ヨ<sup>カ</sup>ツ<sup>タ</sup>。

\* 〈「<sup>エ</sup>カ<sup>ン</sup>ト<sup>ケ</sup>」という表現もある。〉

21. 行かねば ○キ<sup>ョ</sup>ーワ ド<sup>ー</sup>シ<sup>テ</sup>モ {①エカ<sup>ン</sup>ナ<sup>ン</sup>。 ②エカ<sup>ナ</sup> ア<sup>カ</sup>ン。

《誘導》}

22. 行かねばならない ○キ<sup>ョ</sup>ワ ド<sup>ー</sup>デ<sup>モ</sup> エカ<sup>ン</sup>ナ<sup>ン</sup>。

23. ～ズ(ヤ・ジャ・ダ) ○キ<sup>ョ</sup>ーワ ド<sup>コ</sup>ーモ エカ<sup>ン</sup>ト <sup>ウ</sup>チ<sup>ネ</sup> エ<sup>タ</sup>ー。

24. 行きもせず・来もしない ①コ<sup>ツ</sup>チ<sup>カ</sup>ラ エ<sup>キ</sup>モシ<sup>ェ</sup>ン<sup>シ</sup> ソ<sup>ツ</sup>チ<sup>カ</sup>ラ

キ<sup>ー</sup>モシ<sup>ェ</sup>ン<sup>シ</sup>。②オ<sup>タ</sup>ガ<sup>イ</sup>ニ イ<sup>キ</sup>イ<sup>キ</sup>シ<sup>ェ</sup>ン。《誘導》

25. 行くか行かないかわからない ○ア<sup>シ</sup>タ<sup>モ</sup> イ<sup>ク</sup>カエカ<sup>ン</sup>カ <sup>ワ</sup>カ<sup>ラ</sup>ン。

【II】 存在・状態・判断の否定表現

26. 無い ①イ<sup>ッ</sup>ポ<sup>ン</sup>ナ<sup>ラ</sup> アル<sup>ケ</sup>ド ソ<sup>ー</sup> ナ<sup>ン</sup>ボ<sup>ン</sup>モ ナ<sup>イ</sup> <sup>ザ</sup>ー。

②コ<sup>ン</sup>ダ<sup>ケ</sup>シ<sup>カ</sup> ネ<sup>ー</sup>。《誘導》

27. 無い ○コトシンテネ アツイトシャ {①ナイ ナー。 ②ナイ ノー。  
③ネー ナー。}
28. ありはしない ○コトシンテネ アツイトシャ アリヤーセン。《確認・稀》
29. 無かった ○コトシンテネ アツイトシャ ナカッタ ノー。  
\*〈「ネカッタ」・「ネーカッタ」という表現もある。〉
30. ありはしなかった ○コトシンテネ アツイトシャ アリヤーシェナンダ。  
《確認・稀》
31. 無いだらう ○コトシンテナ アツイトシャ {①モー ゴヘン ザー。  
(丁寧) ②ナカロー。(古) ③ナイヤロー。《確認》}
32. 無ければ ○アツイナツ {①ナケリャ エー ガー。 ②ナカッタラ エー  
ナー。《誘導》}  
\*〈「ナケナ」という表現もある。〉
33. 暑くない ○(今日は) アンマリ {①アツクナイ ノー。(改まった感じ)  
②アツナイ ノー。 ③アツネー ノー。《誘導》}
34. 暑くはない ○(今日はあまり) アツワナイ ノー。《確認》  
\*〈「アツワ ネー」という表現もする。〉
35. 暑くなかった ○キョーワ アンマリ {①ノクトナカッタ ノー。  
②アツナカッタ。《確認》}
36. 暑くはなかった ○(今日はあまり) アツワ ナカッタ ノー。  
\*〈「アツワ ネー」という表現もする。〉
37. 暑くないだらう ○アシタモ {①ノクトァ ナイヤロ ナー。  
②アツナイヤロ ナー。《確認》}
38. 涼しくないねえ ○キョワ アマリ スズシネー ノー。
39. にぎやかでない ○アマリ ニヤカデ ナイ。
40. にぎやかではない ○アンマリ {①ニギヤカジャ ナイ。(若)  
②ニヤカデ ネー。}
41. にぎやかでなかった ○アマリ ニヤカデ ナカッタ。
42. にぎやかではなかった ○アンマリ ニヤカジャ ナカッタ。
43. にぎやかではなからう ○モー マエンテネ ニヤカデワ ナイヤロー。
44. 花ではない ○アンナモン {①ハナデ ナイ ザー。 ②ハナデ ネー。}
- 【Ⅲ】 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現
45. だめだ ○ホンナコト シタッテ アカン ゾー。  
\*〈老人層では「～「ダチャカン」「～ダチカン」「～ダイカン」という表現も  
使う。〉
46. だめな ○アリャ アカン ヤツヤ ナー。

47. つまらない ○ {①ムチャクチャ ②アヤナコト } ユー ナ。  
\* (「アホンテナコト」「ウッターコト」「ヘモネーコト」等の表現もする。)
48. いけない ①ホンナ アビネートコ イク ナ。  
②ホンナトコ イツラ アカン ゾー。  
③ホンナトコ エツラ イカン ゾー。  
\* (老人層では「～「ダチャカン」「～ダチカン」「～ダイカン」という表現も使う。)
49. 行カレン \* (当地では禁止の意味で「行カレン」のような表現はしない。)
50. 行くな ○ソソナ アブナイトコエ ジェットイ イクナ。  
\* (「イクンデナイ」という表現もする。)
51. するな ○ヤンチャ {①スンナ。 ②シンナ。《誘導》  
③シトラ アカン ゾ。}  
\* (「シンナ」が一般的である。)
52. 行くもんじゃない ○ソソナトコ {①イクンデナイ。《誘導》  
②エツラ アカン。 ③エカンホーガ イー。《確認》}
53. たまらない ○ (今日は) {①ノクトテ タマラン。  
②アツテ カナン。《確認》}  
\* (「コタエラレン」という表現も使う。)
54. しかたがない ○アメ ヤムノ マツテテモ ドームナラン。  
\* (縮約形「ドームナン」「ドンナン」もある。)
55. 楽ではない ○トーイトコ イクノ {①ウクッチャ。(老) ②ラクデネー。  
《誘導》}  
\* (「ウクッチャ」は「憂いことだ」の意。「ウイコッチャ」とも言う。)
56. 歩きたくない ○トーイトコマデ アルキトナイ。  
\* (「アルキトネ」とも言う。)
57. 大丈夫だ ○ウラノカラダワ シンバイシェンデモ {①ナントモネー。  
②ダンネ。}  
\* (「ダイゴヘン」とも言う。「大事な」の意で丁寧な表現である。)

【IV】 否定の応答表現

58. いや。 ①イヤ。アメ フラナンダ。 ②ナーモ。ナントモ ナカッタ。
59. いや。 ○イヤ。ナーモ フラナンダ。
60. いいえ。 ○ナーモ フレヘナンダ。(丁寧)  
\* (「いいえ」は村でのふだんの生活では使わない。)
61. いや。 ① → ○イヤー。コッチャ アメ ヨー フッター。  
② → ○ {①ウン。 ②ホヤー。} フラナンダー。

62. どういたしまして。 ① ナンノ。ナンノ。 ② ドー イタシエンシテ。〈丁寧〉  
 ③ コッチャコソ ナンノオカマイモ シェント カンネシトクンネヘン。  
 《誘導》〈丁寧〉 ④ イヤー。オクッチャッタ ノー。  
 \* 〈④の「オクッチャッタ」は、「憂いことであったねえ。」つまり「(あなたこそ)たいへんでしたねえ」の意。〉  
 \* 〈これらのほかに「ナモナモ。」「ナーモナモ。」の表現もよく使われる。〉

【V】 不可能の表現

63. 私はできない ① ホンナコト デケヘン。〈丁寧〉  
 ② ホンナコト {① デキン。 ② デケン。《確認》}  
 64. 読むことができない ○ コンナ クライトコデ シンブン {① ヨマレン。  
 ② ヨメン。}  
 \* ①、②に対応する可能の表現はそれぞれ「ヨマレル」「ヨメル」。)  
 65. 読むことができない ○ シンブン {① ヨマレン。 ② ヨメン。}  
 \* ①、②に対応する可能の表現はそれぞれ「ヨマレル」「ヨメル」。)  
 66. 出られない ① コンナ ハデナモン キテ ヒトナカ {① デラレン。② デレン。  
 ③ デラレル ケー。}  
 ② コンナ アカイモン キテカレン ザー。  
 67. 食べられない ○ コンナコケ {① クエン ザー。 ② クワレン。  
 ③ クエル ケー。}  
 68. 食べることができない ○ イソガシテ ヒルメシモ {① クワレン。② クエン。  
 ② タベラレン。 ③ タベレン。《誘導》}

【VI】 反語・反発の強調表現

69. 知るものか ○ ホンナコト {① シル ケ。 ② ウラ シラン。}  
 70. 誰が行くものか ○ ホンナトコ {① ダリヤ イク ケヤ。② ダリヤ イコー。  
 ③ エカレヘン。〈丁寧〉 ④ エカン ゾー。}  
 \* 〈「ダリヤ イク エ」と、文末詞「エ」を付けて言うこともある。〉  
 71. なんて行くか ○ ホンナトコ {① エカレン。エカレン。 ② ナンデ  
エカンナラン ノヤ。 ③ ナンデ エカンナン ネ。}  
 72. なんて恥ずかしいものか ( ) ナンデ ハズカシー ンニヤ。 ② ハズカシネー。  
ハズカシネー。エッチコー。  
 \* 〈老人層では「ナンニヤ ハズカシカロ。」という表現も使う。〉  
 73. 行かないでおるものか ① イクッタラ イクッ チューンニヤー。  
 ② イクッタライク ンニヤー。  
 \* 〈「ウラワ イクッ テ。」という表現もする。〉  
 74. やれるか ○ オエ ソンナコト {① ヤレルン ケ。 ② ヤレル ケヤ。

③デキル ケヤ。}

75. シテイラン ○ホンネ シトネンナラ シテラン。

\* <「シェーデモ エー。」という表現も使う。>

【VII】 特定の副詞の関わる否定表現 (付. 否定形式の見られる特定副詞)

76. 少しもはかどらない ○アツテ シゴト タマデ デケン ワ。

\* <「ナーモ」もよく使う。「ジェンジェン ハテン」とも言う。>

77. ぜんぜんできていない ①シゴト チョットモ シトネー ナー。

②シゴト タマデ デキテン ナー。

78. いっこうに降らない ○アメア {①ジェンジェン ②タマッキリ ③タマデ

④チョットモ} フラン ノー。

79. あまり降らない ○コトシモ アメア {①アンマリ ②アンマシ【確認】

③ヘドー ④ホンネ} フラン ノー。

80. (予想外に) たくさん ①エモア ヨーケ トレタ ナー。テンボモネー

アツタ ザ。 ②イモア グット アツタ ナー。 ③イモア エッベ トレシタ  
ノー。 <丁寧> ③ギョーサン アツタ。

\* <「予想外に」の意味で「オモタンタ (思ったのとは)」「オモタヨリ」「オモタヨリカ」の表現もある。>

【VIII】 その他否定形式の関わる諸表現

81. いいではないか ①ワザワザ イカイデモ エー ワネ。 ②ワザネ イカンドエモ  
エー ザノ。

82. いいのではないか ○ワザワザ エカンドエモ エーンデ ネーン カ。

83. いいかもしれない ○ワザネ エカンドエモ {①エーカモシレン。 ②エーカモ  
ワカラン。}

84. 行かないか ○イッショネ {①エコ マイコ。 ②エカン カ。【確認】

③エツテコン カ。 ④エカン ケー

85. くれぬいか ○コレ ワリケド {①モツテテ ヤ。 ②モツテクレ ヤ。

③モツテクレン カ。}

86. くれませんか ○コレ {①モツテオクネンス カ。 <丁寧>

②モツテ オクレン カ。 ③モツトクレン カ。}

87. 下さいませんか ①コレ エライスンマシェン モツトクレンス カー。

②メツポキノドクナケド コレ チョット モツトクンネヘン カ。

88. 行かないと ①ハヨ エカナー。 ②ハヤイコト イケー。 ③ハヨ エカント。

### III. まとめ

当地方言で否定表現を中核的に支えている語は打消の助動詞「ン」と判断される。それについて老人層が主に口にする「ヘン」がある。助動詞「ナイ」は改まった場席で使われることがあるが、普通は用いない。未来否定の「マイ」はあまり使わず、「フランヤロー」（降らないだろう）のような言い方が普通である。自立語では形容詞「ナイ」があるがその変化形「ネー」をよく使う。

以下、これらのうち主に助動詞「ン」「ヘン」、形容詞「ナイ」の使い方について説明を加えたい。（当地方言を生活語とする執筆者の内省に従ってまとめる。）

#### 1 助動詞「ン」について

「ヌ」を祖形とする「ン」の活用は次のとおりである。

未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
	ナイ	ン	ン	ナ	

連用形の「ナン」は過去の助動詞「タ」と結合して連濁し、「～ナンダ」（～しなかった）、「～ナンダラ」（～しなかったら）のように用いられる。同じく連用形の「イ」は「ナカイデモ エー。」のように用いられる。老人層に多く、中年層まではこの場合「ナカンデモ エー。」のように言う。

仮定形の「ナ」は「エカナ」（行かなくては）、「タバナ」（食べなければ）のように言う。なお「～しなくてはならない」というのに「動詞未然形+ンナ（ラ）ン」という連語化した表現を用いる。「行かんナ（ラ）ン」「起きんナ（ラ）ン」のように言う。

ちなみに「～しなくて良い・～する必要がない」というとき「～ネバン」という表現が用いられる。「行きネバン」、「しネバン」のように連用形に「ネバン」を続ける。ある連語が熟合した結果と見られるが、他に同様の表現がないので、その過程が分からない。打消の助動詞「ン」が内在していると見られる。

次に、直前の語と「ン」との承接のあり方を見ると次のような場合がある。

① 動詞の未然形+「ン」【例】 行かん・受けん・見ん・しえん……

（可能動詞も含む 【例】 行けん・見えん……）

② 可能の助動詞「れる」「られる」の未然形+「ン」

【例】 行かれん・受けられん

③ 接続助詞「て」+「ン」 【例】 行っでん・受けてん……

#### 2 助動詞「ヘン」について

「ヘン」の活用は次のとおりである。

未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
	ヘナン	ヘン	ヘン	ヘナ	

「ヘン」は「～しません」の意を表し、老人層の間でよく用いられる。「ン」よりも丁寧意識のこもった印象を与える。「動詞連用形+係助詞『ワ』+『セン』」→「動詞語幹+aセン」→「動詞語幹+eヘン」という過程を経て「動詞仮定形+打消の助動詞『ヘン』」に至ったものと考えられる。「行かヘン」「あらヘン」のように動詞未然形に接続する用法は当地では見られない。特別熟合の進んだ表現に「ゴヘン」（ごさいません）がある。「ゴイス」（ごさいます）に対応する表現である。

続けて直前の語と「ヘン」との承接のあり方をまとめると次のようになる。

① 動詞の仮定形+「ン」【例】 行けヘン・受けヘン・見ヘン・しゅヘン……

（可能動詞も含む 【例】 見えヘン・読めヘン……）

② 可能の助動詞「れる」「られる」の未然形+「ン」

【例】 行かれヘン・受けられヘン

③ 接続助詞「て」+「ン」 【例】 行ってヘン・受けてヘン……

### 3 助動詞「ネー」について

「ネー」の活用は次のとおりである。

未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
ナカロ	ナク ナカッ ネカッ ノー	ナイ ネー	ナイ ネー	ナケリ ヤ ナケナ	

「ナイ」は改まったときに使い、一般には終止形等に「ネー」を使う。

推量表現の際、未然形「ナカロ」が使われるが、それよりも「ナイやろー」という言い方の方がよく用いられる。

連用形は「ナクても」「ナカった」「ネカった」「ノーて」のように言うが、「ナカッ」「ナク」には改まり意識があり、ふだんはあまり言わない。

仮定形は「ナケリヤ」よりも「ナケナ」の方をよく用いる。

（あまのよしひろ 仁愛女子短期大学）